

令和4年度 上片桐保育園・松川北小学校 架け橋期のカリキュラム

年 長 児					
月	I 期 (4 ~ 5月)				
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・年長になったことを喜び、意欲を持って園生活に取り組む。 ・友だちと好きなあそびを十分楽しむ。 ・自然に触れて興味を持ったり動植物の世話をしたりする。 				
活 動 例	<ul style="list-style-type: none"> ○グループ活動 (バケツの水汲み、野菜の水やり、玉ねぎの皮むき) ○誕生会の司会、プレゼンター ○運動遊び (なわとび) ○こいのぼり制作 (マジック・絵の具) 				
10の姿の実践例	<p>「ころがしドッヂボール」 <input checked="" type="checkbox"/>①健康な心と体 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性 <input checked="" type="checkbox"/>④道徳性・規範意識の芽生え</p>  <p>ルールのあるボール遊びは初めて。まずは、子どもの絵カードをホワイトボードに貼り付けてルールを説明してから1試合チャレンジしてみる。試合後、負けたチームの子どもたちと先生が相談。先生「ボールが来たら？」子どもたち「ジャンプする」「とれるボールは取る」。続いて、先生「投げる時は？」子どもたち「思いっきり投げる」「つよく投げる」。2回戦目に入ると、ボールを持ったたらすぐに投げたり、当たったらすぐに外野に出たりする等、ルールを理解して楽しんでいる姿が多く見られた。 (⇒ 小1 1学期 体育「ぼーるあそび」)</p> <p>「はたけのおせわ」 <input checked="" type="checkbox"/>⑦自然との関わり・生命の尊重 <input checked="" type="checkbox"/>⑨言葉による伝え合い</p>   <p>(5月初旬) 苗の水やりと子どもたちが作った看板立てのために畑へ。先生「昨日と違うところがあるね。」子ども「棒が立ってる」「ひもが付いてる。」先生「どうして棒が立っているの？」子ども「風で取れちゃうから」「前にとうもろこしが折れたことがあった…」野菜を大事に育てていく気持ちを高めるために、子どもたちと対話しながら進めた。</p> <p>(5月下旬) 野菜の生長を見に再び畑へ。まずは畑づくりを手伝ってくださっている先生にごあいさつ。「畑の先生、いつもお世話ありがとうございます。」その後子どもたちは思い思いに野菜の様子を見て回り、最後にみんなで気づいたことを出し合った。「お花が咲いていたよ。」「ピーマンは白いお花。」「トマトは黄色い花だったよ。」「かぼちゃは葉っぱがすこしだくなっていたね。」</p> <p style="text-align: right;">(⇒ 小1 1学期~2学期初め 生活「あさがおをうえよう」)</p>				
環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体的に活動するための生活に必要な当番表や手順表の用意をする。 ・気の合う友だちや保育者と好きな遊びを見つけて遊べる遊具や玩具の用意をする。 ・子どもの言葉や思いを拾い上げ、主体的に遊びを展開していくような対応を行う。 ・春の自然に親しめる活動や遊びの提供。 				
交 流	<table border="1"> <tr> <td>園内</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・年少児のお手伝い(お散歩や集会の際、迎えに行く、昼寝後の布団たたみ) ・なかよし組(異年齢組) </td></tr> <tr> <td>園外</td><td></td></tr> </table>	園内	<ul style="list-style-type: none"> ・年少児のお手伝い(お散歩や集会の際、迎えに行く、昼寝後の布団たたみ) ・なかよし組(異年齢組) 	園外	
園内	<ul style="list-style-type: none"> ・年少児のお手伝い(お散歩や集会の際、迎えに行く、昼寝後の布団たたみ) ・なかよし組(異年齢組) 				
園外					
家庭地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの特徴や性格、家庭状況等を把握する。 ・園での意欲的な姿を知らせたり家庭での様子を聞いたりして一人ひとりの保護者との信頼関係を築く。 ・畑の先生から教わる栽培活動を園児や家庭に広める。 				

年長児					
月	Ⅱ期（6～8月）				
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・梅雨期や夏の生活の仕方がわかり、健康に過ごす。 ・友だちと互いに思いを出し合いながら、遊びをすすめる。 ・目的をもって試したり、自分の力を発揮したりしながら、夏ならではの遊びを存分に楽しむ。 				
活動例	<p>○笹、七夕飾り制作（段ボール、折り紙、染め紙）、たなばた会 ○畠の先生との野菜作り、じゃがいもの収穫 ○どろんこ ○プールあそび</p>				
10の姿の実践例	<p>「きれいなたなづくをつくろう（染め紙）」 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性 <input checked="" type="checkbox"/>⑧数量や图形、標識や文字などへの関心・感覚 <input checked="" type="checkbox"/>⑨言葉による伝え合い <input checked="" type="checkbox"/>⑩豊かな感性と表現</p> <p>「なぜ、たなばたにささかざりをするの？」の紙芝居を読んだ後、中からお手紙が出てきた。「みんなのお願いごとも叶えられるように、空から見えるお願ひごとを飾ってください。」織姫・彦星様からの手紙だった。染め紙で短冊を作ることになり、先生が7色の絵の具を溶いたカップを用意した。紙をカード位の大きさに折り、自分の好きな3色を選び、折った紙の角に絵の具を付けた。紙を広げると、様々な模様ができていて、子どもたちは「うわ～、きれい。」「みてみて。」と、とても嬉しそうに見せ合っていた。（⇒ 小1 1学期～2学期初め 図工「いろあそび」）</p> <p>「大事な話」 <input checked="" type="checkbox"/>④道徳性・規範意識の芽生え <input checked="" type="checkbox"/>⑨言葉による伝え合い</p> <p>先生「おうちの人からお話をありました。みんなは言われて嬉しい言葉はなんですか。」子ども「おめでとう。」「かっこいいね。」「難しいことをがんばったね。」先生「では、言われて悲しい言葉はなんですか。」子ども「バカ」「だいつきらい。」「かっこわるい。」先生「言われてどんな気持ちだった？」子ども「悲しい。」先生がホワイトボードに「おでぶちゃん」と書いた。先生「体のことを言われたら、どう？」子ども「悲しい。」「自分が言われて悲しいことは、言わない。ゆり組の約束です。ゆびきりげんまん うそついたら はりせんぼん の一ます ゆびきっと。」全員で声に出して約束した。（⇒ 小1 2学期 道徳「なかよし月間のこと」）</p> <p>「プールの絵（制作）」 <input checked="" type="checkbox"/>②自立心 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性 <input checked="" type="checkbox"/>⑥思考力の芽生え <input checked="" type="checkbox"/>⑧数量や图形、標識や文字などへの関心・感覚</p> <p>前時はプールあそびをする自分を作った。先生「プールの形をみんなで相談して作ります。」子どもたちは模造紙大の紙をそれぞれ持ってきて並べ始めた。子ども「プール、でつかいからプールの大きさで作ろうよ。」「パズルみたいにくっつけよ。」並べるうちに、ある子が「隙間ができる。」と気づく。先生「これだと水漏れしちゃうね。」他の子が隙間を埋めるために、紙を上から重ねて置き始めた。それを見ていた子も紙を重ね、隙間を埋めた。自分たちで作ったプールができ上がった。</p>				
環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中で、友だちと考えを出し合う場を作る。 ・自分たちで遊びをすすめる楽しさを感じられるように、子どもの姿を予測して必要な環境を準備する。 ・楽しく安全なプール遊びができるように話し合いの場を持ち、ルールを守る大切さに気づけるようにする。 				
交流	<table border="1"> <tr> <td>園内</td><td>・なかよし組（異年齢組）の応援旗作り、なかよし競技</td></tr> <tr> <td>園外</td><td>・6年生との交流会</td></tr> </table>	園内	・なかよし組（異年齢組）の応援旗作り、なかよし競技	園外	・6年生との交流会
園内	・なかよし組（異年齢組）の応援旗作り、なかよし競技				
園外	・6年生との交流会				
家庭地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎の際に、家庭や園での姿を共有し合う。 ・畠の先生に野菜の生長に関わる心配事や疑問の解決策を教えてもらい、野菜の生長を見守る。また、一緒に収穫することの喜びを味わう。 ・ドキュメンテーションで保護者や地域へ園の様子を伝える。（上片桐地区5施設：改善センター、松川北小、松川高校、子育て支援センターおひさま、コアみらい（デイサービス） 				

年 長 児

月	III期（9～12月）				
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に向かって自分の力を発揮したり、協力し合ったりして達成する楽しさを味わう。 ・友だちと考えを出し合い、思い描いたものを作り上げていく楽しさや満足感を味わう。 ・身近な自然に興味・関心をもち、遊びに取り入れて楽しむ。 				
活 動 例	○お散歩 ○制作「むらやま公園の遊具を作ろう」 ○自然物を使った制作（落葉の擦り出し） ○集団遊び（鬼ごっこ）				
	<p>「運動会ごっこ」 <input checked="" type="checkbox"/>①健康な心と体 <input checked="" type="checkbox"/>②自立心 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性 <input checked="" type="checkbox"/>⑤社会生活との関わり</p> <p>プールの時期に制作していた水中の生き物イルカのにじちゃんがクラス種目に登場する。にじちゃんへ手紙を送り、返事をもらう。にじちゃんからやる気が出る手作りのリストバンドももらい、運動会ごっこに向かう頑張りや楽しみになった。また、応援合戦や体操のリーダー、紅白旗を持つ大将等、1人ひとりに役割がある。年少、年中とのなかよし組の競技では3人で力を合わせて果物を運ぶ。年長さんが年少さんのペースに合わせる姿が見られた。（⇒ 小1 2学期体育「ダンス」）</p> 				
10 の姿の実践例	<p>「さつまいもほり」 <input checked="" type="checkbox"/>①健康な心と体 <input checked="" type="checkbox"/>⑦自然との関わり・生命の尊重</p> <p>畑に行く前、先生が「春に植えたおいもがいくつ付いているか、どんな形か、よく見ておこう」と園児に伝えた。畑の先生が葉やマルチを切って掘りやすいように準備してくださった。1人1つずつ引っ張る。力を入れて持ち上げると、立派なさつまいもが4個ほど付いていた。最後に先生が土の中に残っているものがいいかシャベルで掘り起こす。先生と一緒に最後までいもを探して掘っていた。</p> <p>（⇒ 小1 2学期 生活「さつまいもほり」）</p> 				
	<p>制作「さつまいもをつくろう」 <input checked="" type="checkbox"/>⑥思考力の芽生え <input checked="" type="checkbox"/>⑦自然との関わり・生命の尊重 <input checked="" type="checkbox"/>⑧数量や图形、標識や文字などへの関心・感覚 <input checked="" type="checkbox"/>⑨言葉による伝え合い <input checked="" type="checkbox"/>⑩豊かな感性と表現</p> <p>先生がおいもの大きさ、形、数を聞く。子ども「丸かった」「でかい」「細い」「4こ」「5こ」先生「おいもは土の中でどうやってくっついていたのかな？」子ども「根っこだよ。」新聞紙を小さく握ってさつまいもを作る。先生が根っこ部分を作ったY児のさつまいもを紹介する。K児「どうやって作ったか教えて」とY児に聞くと「丸めた端をキュッ、キュッて握ったよ。」近くで見ていたA児は、同じように端を握って根っこを作っていた。</p> 				
	<p>「ごっこあそび」 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性 <input checked="" type="checkbox"/>⑤社会生活との関わり <input checked="" type="checkbox"/>⑧数量や图形、標識や文字などへの関心・感覚 <input checked="" type="checkbox"/>⑨言葉による伝え合い</p> <p>ごっこ遊びの1つ、お化け屋敷を作る。先生と子ども達で設計図を作る。子ども「分かれ道を作りたい。入口と出口は同じ所。」先生「宝箱はどこに置く？」「K君はここだって。」子ども「うん、いいよ。」みんなで考えを出し先生がまとめて設計図が完成した。ごっこ遊びでは、お化け屋敷、水族館、お店屋さん等、計6か所作った。店員役とお客様の2グループに分かれて、前半後半で交代する。水族館に来た未満児のお客さんに「ここでお金を払ってね。」「サメにあげるエサだよ。エサは上方で持つてやるといいよ。」とコツを分かりやすく説明していた。ハンバーガー屋さんで「ハッピーセット1つお願い。」とお客様に頼まれたA児。「はい。急いで作らなくちゃ。」B児「お客様、よんじゅうごじゅうえんです。」と店員になりきって遊ぶ。</p> <p>（⇒ 小1 3学期算数・国語「おみせやさんごっこをしよう(おかね・ものの名前)」）</p> 				
環 境 構 成	<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊びが十分できるように場所や遊具を整え、安全な使い方を確認する。 ・1人ひとりの子どもが互いに自分の考えを出し合いながら遊びを進めていけるように、仲立ちをしたり見守ったりする。 ・いろいろな素材や用具を豊富に用意し、適切に使えるように使い方を確認したり援助したりする。 				
交 流	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">園内</td><td>・なかよし組（異年齢組）競技、クリスマスリース制作</td></tr> <tr> <td>園外</td><td>・進学する小学校での旗拾い ・6年生との交流会②</td></tr> </table>	園内	・なかよし組（異年齢組）競技、クリスマスリース制作	園外	・進学する小学校での旗拾い ・6年生との交流会②
園内	・なかよし組（異年齢組）競技、クリスマスリース制作				
園外	・進学する小学校での旗拾い ・6年生との交流会②				
家庭 地 域 連 携	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎の際に、家庭や園での姿を共有し合う。 ・運動会に飾る万国旗を家庭で親子制作することを依頼する。 ・畑の先生とさつまいもを収穫する。畑の先生の調理風景を見学し、調理したものを感じる。 ・個人懇談会で園と家庭での様子を共有し、子どもの成長の姿を確かめ合う。 				

年長児

月	IV期（1～3月）					
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・友だち同士で遊びに目的を持ち、お互いを認め合いながら協力して遊びを広げたり、満足感を味わったりする。 ・冬の自然や遊びに自ら関わり、いろいろな物への興味、関心を深める。 ・充実した園生活を過ごしながら、自信を深め、入学への喜びと期待を持つ。 					
例活動	○お正月遊び ○雪、氷遊び ○劇遊び ○卒園式練習					
10の姿の実践例	<p>「けん玉」 <input checked="" type="checkbox"/>①健康な心と体 <input checked="" type="checkbox"/>②自立心 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性</p> <p>保護者会からプレゼントされたけん玉に挑戦し始めた。1回で成功する子はおらず、何度も挑戦。1週間前に大皿を最後まで続け、成功させたY児は中皿が4回連続で成功するまでになった。朝の自由遊びでもけん玉をしている。けん玉カードが用意され、成功するとシールがもらえる。けん玉を始めて3週目に全員で見合う時間が設けられた。大皿、中皿、小皿を順番に全員で行う。成功したらその場に座り、友だちの様子を見守る。中皿ができず苦戦していたK児は「教えてほしい。」とつぶやく。K児の周りに集まり、やり方を見せたり、「膝を曲げて。」「止めてから始めるよ。」などのコツを伝えたりしていた。</p> <p>「手作りかるた」 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性 <input checked="" type="checkbox"/>④道徳性・規範意識の芽生え <input checked="" type="checkbox"/>⑥思考力の芽生え <input checked="" type="checkbox"/>⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 <input checked="" type="checkbox"/>⑨言葉による伝え合い</p> <p>自分たちでかるたを作る。「○○が△△した。」の文を作り、そのあと絵を描く。文を作る時は自分で描ける絵にするようにした。子どもたちが作ったかるたは「あいすがとけた」「けんだまつたのしいな」など。かるた取りの約束を先生が子どもに聞く。「読み札を読む時は静かにする。」「先生が読んで“はい”って言って、手が下の人が最初に取った人。」など、自分の言葉で伝えていた。その約束を皆で確認してから、実際にやってみた。</p> <p>(⇒ 小1 2学期生活「百人一首」)</p> <p>「節分(作戦会議をしよう)」 <input checked="" type="checkbox"/>①自立心 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性 <input checked="" type="checkbox"/>⑥思考力の芽生え <input checked="" type="checkbox"/>⑨言葉による伝え合い</p> <p>鬼から挑戦状が届く。先生「鬼に連れて行かれてもいい？」子ども「鬼を追い払う。」「鍵を閉めておこう。」「豆を食べる。」などの意見が出る。「鬼に触らないで退治するにはどうしたらいいか。」を皆で考える。子ども「作戦会議をしよう。」「鬼は豆が嫌い。」「豆以外に柊の葉っぱ。」「(昨年のことを思い出して)さかな、前に置いてあった。」年長児が下の学年の子と協力してできそうな作戦を考えていく。</p> <p>制作「鬼のお面をつくろう」 <input checked="" type="checkbox"/>②自立心 <input checked="" type="checkbox"/>⑥思考力の芽生え <input checked="" type="checkbox"/>⑩豊かな感性と表現</p> <p>教室には鬼のお面がいくつか飾ってある。鬼の顔は自分で決めた材料を使って作る。に新聞紙を付けた張りぼて、食品トレーなど、1人ずつ顔の材料が違う。色画用紙で尖った角の作り方を先生が実際に作って見せる。紹介した角だけでなくラップの芯を使って作る子もいた。</p> <p>「げきあそび」 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性 <input checked="" type="checkbox"/>⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 <input checked="" type="checkbox"/>⑨言葉による伝え合い <input checked="" type="checkbox"/>⑩豊かな感性と表現</p> <p>3グループに分かれて劇遊びをする。まず先生が読み聞かせをしてお話を覚える。その後、子どもたちだけでお話を読んでみる。K児、Y児が中心になって進める。A児に台詞を促す。お話の途中で道具作りへ変わっていく。その様子を見て先生が入り、一緒に動きを付けながら台詞を言い、お話の流れを覚えていた。その後、お面や小道具を作る。</p>	    				
環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統行事や伝承遊びに親しめるように保育士も一緒に活動する。また、目標を持って頑張る姿やできなくて悔しい気持ちを受け止める。 ・活動をやり遂げる満足感や充実感を味わえるように、友だちとイメージを共有したり、共通の目的に向かって協力したりする場を作る。 ・園生活の楽しかった思い出や卒園式について話をする場を設定し、1人ひとりの気持ちを大切に受け止める。 					
交流	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">園内</td> <td>・なかよし組（異年齢組） レストランごっこ</td> </tr> <tr> <td>園外</td> <td>・6年生との交流会③ ・来入児1日入学 ・5年生との交流会</td> </tr> </table>	園内	・なかよし組（異年齢組） レストランごっこ	園外	・6年生との交流会③ ・来入児1日入学 ・5年生との交流会	
園内	・なかよし組（異年齢組） レストランごっこ					
園外	・6年生との交流会③ ・来入児1日入学 ・5年生との交流会					
家庭地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎の際に、家庭や園での姿を共有し合う。その際、保護者の就学への期待や不安を受け止める。 ・参観日で1年間の園での成長の様子を見てももらう。 ・地域育成会の激励会に参加し、お話を聞き、入学記念品をいただく。 					